保証について

- 1、販売店様印、お客様の欄にご記入のない場合は「無効」になります。
- 2、「正常なご使用状態」において発生した故障については、御買上げ日より 満1年間の保証をさせていただきます。
- 3、次の場合は、保証期間中でも「有償修理」とさせていただきます。 ②使用上の誤り。 ②納品後の移動、輸送によって生じた損傷や故障。 ③改造された場合の故障。 ②火災、地震、水害などの天災による損傷や故障。 ②その他、上記に準ずるもの。
- 4、本保証は日本国内で本機をご使用の場合に限り有効です。

---- ■修理·点検、送り先·お問い合わせ先■ -----

〒121-0836 東京都足立区入谷7-18-29 TEL 03-3899-4281 FAX 03-3899-6882

◆http://www.kishiden.co.jp/

◆E-mail:catalog@kishiden.co.jp

◆nttp://www.kishiden.co.jp/

VE mail.catalog@Norliden.co.

-7-

注意文の「▲危険」、「▲警告」、「▲注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「 \triangle 危険」、「 \triangle 警告」と「 \triangle 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「▲注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

▲ 危険、 ▲ 警告: 誤った取扱いをされたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される 内容のご注意。

▲ 注意:誤った取扱いをされたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

■安全上のご注意■

◎ギム JP-200 ウェルダはプロ用溶接機です。有資格者、溶接技能者の方がお使い下さい。◎火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「禁止事項/注意事項」を必ず守って下さい。

◎ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用して下さい。◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

■禁止事項/注意事項■

危険

帯電部に触れると致命的な電撃ややけどを負う恐れが有ります。

- ●帯電部には触れないで下さい。
- ●ケースやカバーを外したまま使用しないで下さい。
- ●乾いた絶縁手袋を使用して下さい。
- ●汗や雨等で濡れた服装で作業しないで下さい。

A 警告

アーク光、スパッタ、スラグは、目の炎症、やけど、視覚異常の原因になります。

- ●十分な斜光度を有する保護具を使用して下さい。
- ●皮手袋、長袖服、脚力バー、皮前掛け等の保護具を使用して下さい。
- ▲ ●騒音が高い場合には、防音保護具を使用して下さい。

🚹 注意

ヒュームやガスは健康を害する恐れが有ります。

- ●局所排気設備や呼吸用保護具を使用して下さい。
- ●狭い場所では、十分換気するか呼吸用保護具を着用し監視員のもとで溶接して下さい。
- ●油等の噴霧作業の近辺では溶接しないで下さい。
- ●被覆鋼板の溶接は、呼吸用保護具を使用して下さい。

溶接は、火災や爆発、破裂の原因になります。

- ●溶接場所の近くから可然物や可燃性ガスを取り除いて下さい。
- ●密閉されたタンクやパイプを溶接しないで下さい。
- ●溶接場所の近くに消化器を置いて万一の場合に備えて下さい。
- ●作業休止中や離れる時は事故防止のため電源を切って下さい。



手数ですがこのペ

してお送りください。

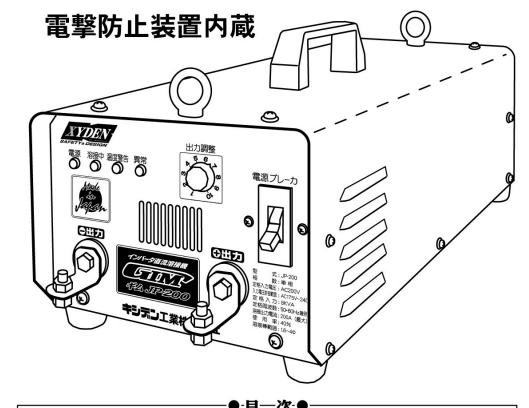
AXやEメー

ル

も有効です。

取扱説明書





安全上のご注意・・・・・1P 各部の名称・・・・・・3P 仕 様・・・・5P 禁止事項/注意事項・・1P 各部の説明と表示・動作説明・・4P 日常の点検と保守・注意・・・・6P はじめに・・・・・2P 入力電源の接続・・・・4P 保証書・・・・7P 設置と作業上の注意・・・2P 特長・その他・・・・5P 修理・点検、送り先・問い合わせ先・・7P

タグダ キシデン工業株式会社

■はじめに

キシデン製JP-200を御買上げ頂きまして有り難うございます。

JP-200の溶接能力は最大200Aの溶接能力を持ち、厳密な検査を経てお手元に届いたものです。

JP-200を正しく安全にお取扱いいただくために、ご使用前や点検前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。

またお読みいただいた後は大切に保管し、必要なときにお読み下さい。

◎本機JP-200は直流式です。

直流式は感電事故の事例がなく、電撃防止装置の必要を法律では規定していません。 〈労働安全衛生規則第332条に準じています〉

(建築現場などの作業場所の高さが2m以上の落下の危険のあるところでの溶接作業。鉄骨などの伝導性が高い設置物が身体に触れやすい狭い場所での作業など。)

■設置と作業上の注意

1、本体は水平で安定した場所に設置して下さい。

2、風通しの良い場所に設置して下さい。

3.本体は空冷方式を採用しています。

設置場所は本体から空間が10cm以上、後方50cm以上ある場所にして下さい。

4、精密機器ですので水や、雨のかからない場所に設置して下さい。

5、溶接スパッタやサンダー切断機等の火の粉のかからないようにして下さい。

6、出力端子と溶接コードはしっかりと接続し、絶縁テープ等で保護して下さい。

7、鉄粉、ホコリ、蒸気その他可燃物の無い所で使用して下さい。

※冷却ファンがこれらを吸込み内部機器を破損させます。

8、強い衝撃は絶対に避けて下さい。









XXIDDN JP-200 特長·その他

■出力は直流式でメリット

溶接コードの延長に対してドロップ率が少ない。

■環境対策(電気の低減)

インバータ方式採用、交流機と比べ電気は節約可能。(現場環境にもよります)

■巾広い入力電圧許容範囲

許容範囲、175V~240Vまで対応(切り替え必要なし)。

不安定な現場での電圧変化により対応できる設計です。

■保護回路

使用率オーバによる温度保護回路、過電流異常保護回路などの安心設計です。

■溶接コード

22mm²以上推奨。

MDM JP-200 仕 様

1		
機種	名	ギム(GIM)
型	式	JP-200
設計と製	造	日本人による設計と製造
分	類	インバータ直流溶接機
相	数	単 相
定格入力電	圧	AC200V
入力電圧許容範	囲	AC175V~240V
定格入	カ	8KVA
周 波	数	50Hz·60Hz兼用
定格出力電	流	200A(最大)
使 用	率	40%
溶接棒範	囲	1.6~4Φ(4Φ点付)
電撃防止装	置	内蔵
冷 却 方	式	強制空冷
寸	法	巾220×高235×奥512mm
重	量	13kg
付 属	品	肩掛けベルト1個、端子カバー2個、接続端子2個

※ 各部の説明と表示・動作説明

■前 部

●①電源ブレーカスイッチ:通常は電源のON・OFFスイッチとして使用しますが、内部破損や異常消費電流、ショート等の異状事態にはブレーカとしてスイッチが切れます。

※異常事態を感知しスイッチが切れた時には重傷と思われます。修理が必要と思われます。

- ●②電源ランプ(イエローランプ):通常は電源ブレーカスイッチのONで点灯。電源が入ったことを表示。
- ●③溶接中ランプ(緑ランプ):溶接中を表示します。
- ●④温度警告ランプ(赤ランプ): 異常温度を感知し点灯します。点灯の場合は溶接電圧出力を停止します。正常な温度に戻り(約5分)次第、温度警告ランプは消灯し作業再開できます。
- ●⑤**異常ランプ(赤ランプ)**: 入力電源の異常、機械内部の保護回路作動時に点灯します。 ※電源ブレーカスイッチを再投入する必要があります。
- ●⑥**出力調整**:溶接状況により最適出力に調整して下さい。
- ●⑦冷却風吸気口:空冷ファンの吸気口になります。吸気口は絶対にふさがないようにして下さい。故障の原因になります。

●⑧-出力端子:

■後 部

●⑩冷却風排気口:空冷ファンにより排気されます。排気口は絶対にふさがないようにして下さい。故障の原因になります。

MDM JP-200 入力電源の接続

- ●電源コードは標準で5.5Sqの取付をしております黒・白に単相200Vを入力し、緑がアース線となります。
- ●接続コードについて

電源コードの延長: 10m以内5.5Sq推奨、10m以上は8sq推奨

※注意=電源コードの延長は、入力電圧のドロップが発生し、機械の故障要因にもなります。 最大延長は30m以内を推奨いたします。

-4-

XYDEN JP-200 日常の使用と保守·注意

- 1. ケーブルの接続箇所のボルトの緩みや、絶縁テープ等の亀裂がおきていないか使用前に点検してください。
- 2. 各部品の欠陥や、ネジの緩みまたは故障したままで使用しないでください。
- 3. 改造は絶対にしないで下さい。保証や修理はお断りします。
- 4. 使用率をこえた作業を繰り返し続けますと、故障の原因になります。 ※温度異常警告ランプが頻繁に作動する方は注意が必要です。
- 5. 電子部品を使用しているので、大きな衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。

■作業上安全衛生上の注意

- 1. 安全ホルダーの通電部や溶接棒が手や身体に触れないように気を付けてください。また革 手袋を必ず使用してください。特に濡れた身体で機械やケーブル等に触れると大変危険です。
- 2. 溶接中照射光が直接皮膚に当たらないように、照射光を肉眼で見たりしないようにしてください。特にインバータ溶接機の照射光は強いので、十分注意してください。 必ず照射光は着色した遮光ガラスを通して見てください。
- 3. 飛散する火花スパッタから身を守るための防護器具、アーク溶接用保護面(ハンドシールド) 前掛、革手袋、腕カバー、すねカバーなどを必ず使用してください。

■発電機のご使用について

本機は電解コンデンサーを内蔵していますので、使用できない発電機があります。故障の 原因になりますので十分注意してご使用下さい。

詳しくは発電機メーカー又は当社までお問い合せ下さい。